

2007年3月期 決算説明会

2007年 5月18日  
ユニチカ株式会社

## . 2007年3月期 通期決算

### 1. 当期の業績概況

(億円)	実績		増減	
	07/3	06/3	金額	%
売上高	2,206	2,160	+46	+2%
営業利益	112	142	30	21%
利益率	5.1%	6.6%		
経常利益	85	117	32	28%
特別利益	0	16	16	
特別損失	51	54	2	
当期純利益	26	45	19	43%

#### 前年比 増収減益

高分子、機能材事業での増販等により増収

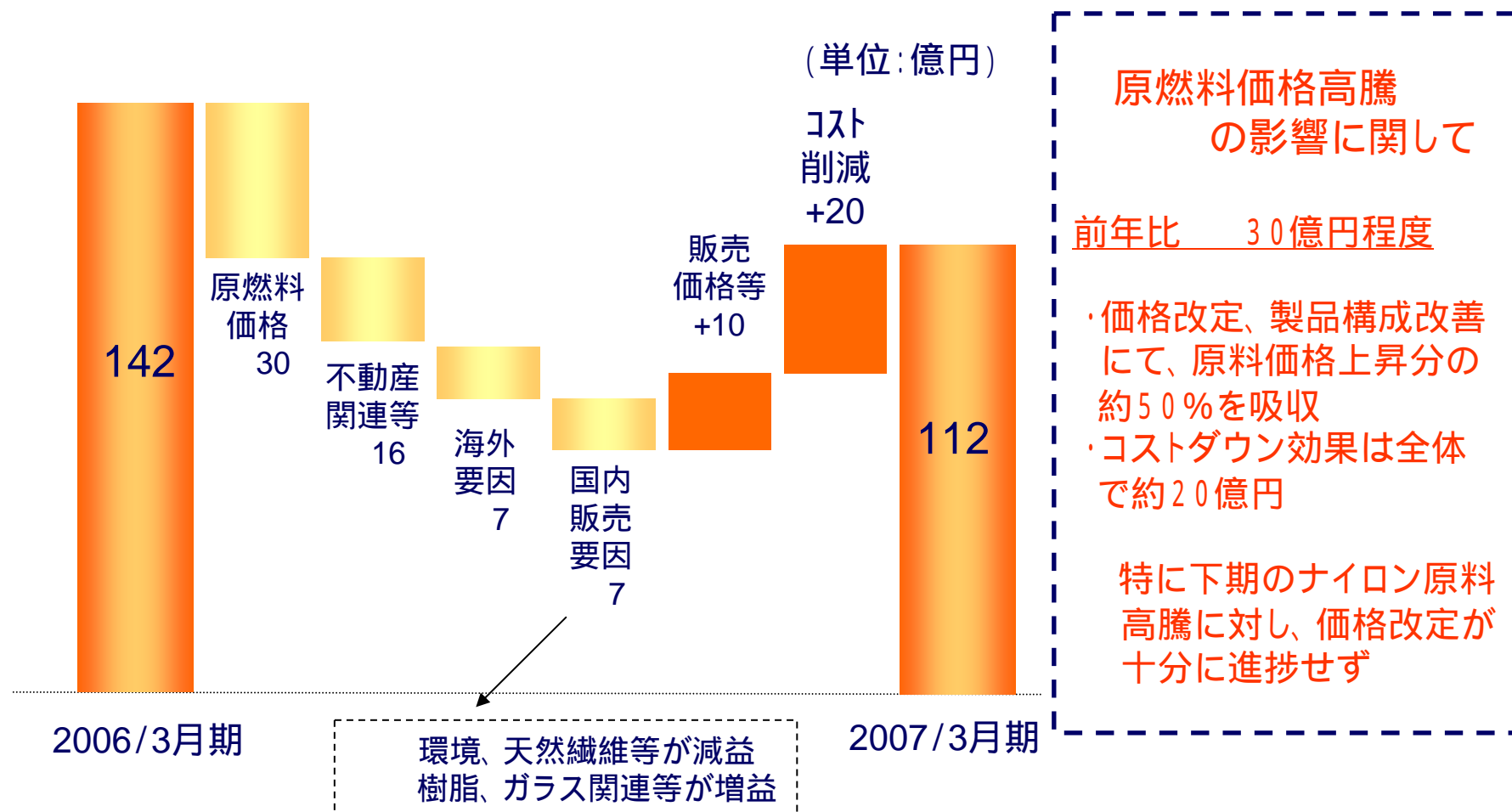
#### 減益要因

- ・原燃料価格の更なる上昇、価格改定の進捗が不十分
- ・環境事業の収益回復遅れ
- ・天然繊維事業の市況悪化
- ・不動産事業の収益減少

#### 高機能樹脂、ガラス素材は堅調

- ・電機、電子機器関連、IT関連分野向け等での拡販が進む

## 2. 収益変動の増減内訳(営業利益)



### 3. 財務及びキャッシュフローの状況

[ B / S ]

(億円)	07/3末	07/3中間 (06/9末)	06/3末	対06/3末 増減
資産合計	3,284	3,265	3,318	35
負債合計	2,884	2,871	2,918	34
少数株主持分	-	-	47	-
資本合計	-	-	353	-
純資産	400	394	-	
内自己資本	353	348	-	

< 06年3月期との対比 >

有利子負債  
1994億円 1969億円  
・約25億円の削減

自己資本  
353億円 ほぼ横這いで推移  
・利益剰余金増加  
・有価証券評価差額金減少

[ キャッシュフロー ]

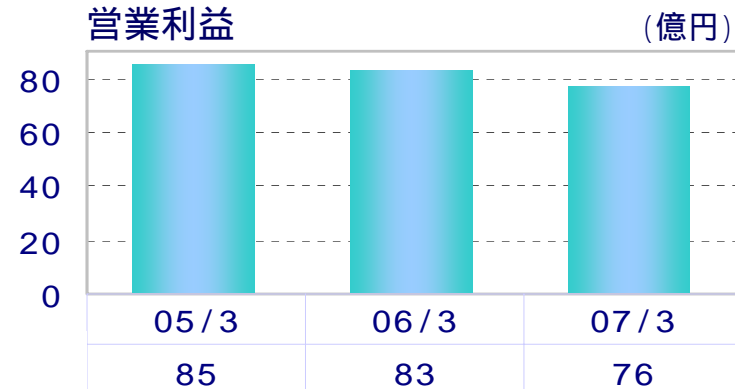
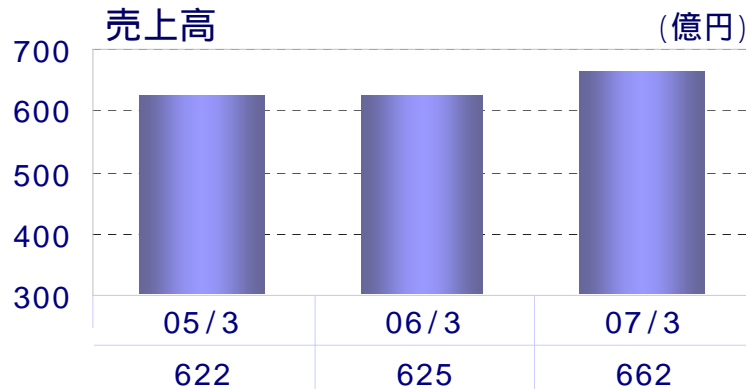
(億円)	営業 CF	投資 CF	財務 CF	現金及び 現金同等物
07/3	119	71	38	155
06/3	109	91	93	143

#### 4. セグメント別収益変動の状況

事業セグメント (億円)	売上高			営業利益		
	07/3	06/3	増減	07/3	06/3	増減
高分子	662	625	+37	76	83	6
環境・機能材	289	270	+19	23	24	1
繊維	1,032	1,030	+2	21	27	6
生活健康・その他	222	234	12	22	39	18
消去・全社				30	31	+1
連結合計	2,206	2,160	+46	112	142	30

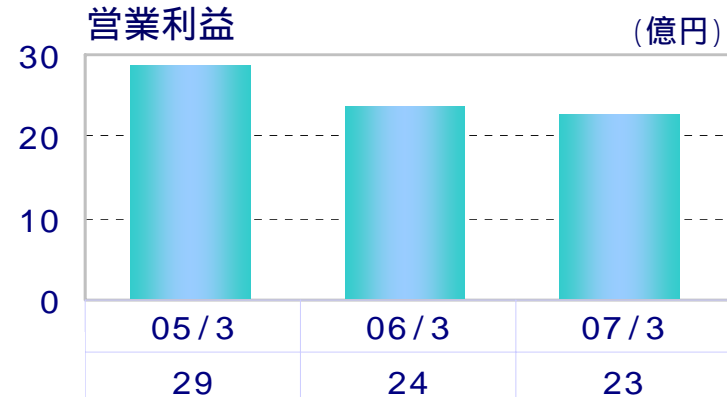
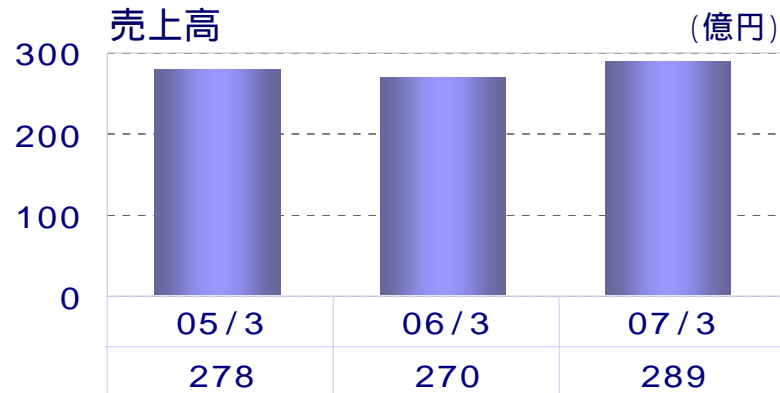
「消去・全社」欄は、「消去」、「未来費用」、「退職給付費用の一部」を含んでいる。

## 高分子事業



フィルム	増収 減益	ナイロンフィルムは国内外での増販などにより売上増、価格改定が十分進捗せず、また海外での競合激化もあり減益 エステルフィルムは工業用途を中心に販売量増
樹脂	増収 増益	ポリアリレート、ナノコンナイロンなど高機能樹脂が自動車、IT関連分野を中心に販売拡大、PETボトル向け樹脂が収益減少 今期から封止成型事業が収益に貢献
不織布	増収 微増益	スパンボンドはオムツ・ルーフィング用途の収益が回復、輸出用途は引続き堅調、暖冬の影響で農業用途が低調 綿スパンレースは衛材、化粧雑貨用途を中心に販売量増

## 環境・機能材事業



環境

減収  
減益

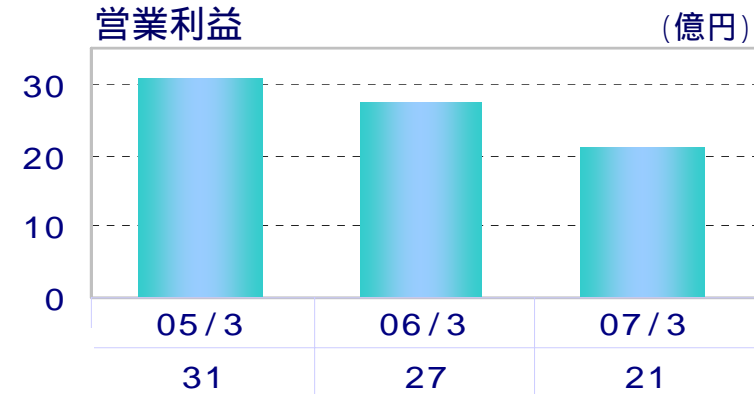
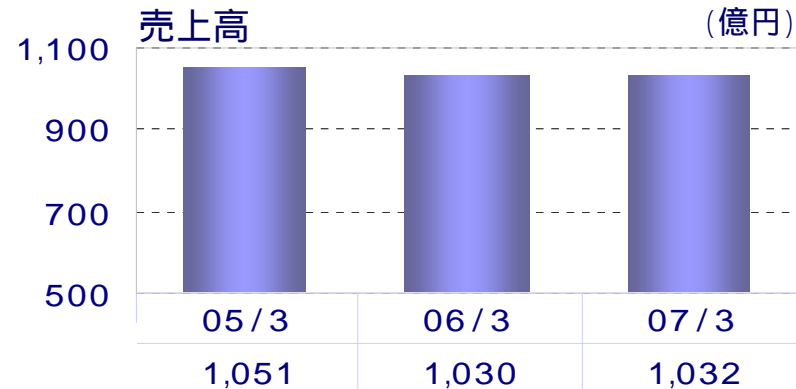
公共事業縮減下、工事受注の遅れ、設計・積算段階を含めた工事進捗の遅れなどにより、全体的に収益が低迷  
水処理分野を中心として今期受注については前年比増加

機能材

増収  
増益

産業資材向けガラスクロスがバグフィルター、テント用など各種断熱・不燃用途等で伸長、ICクロスがパソコン、携帯電話向け等で収益増、ガラスビーズ、活性炭繊維が堅調に推移

## 繊維事業



### 合成繊維

微増収  
利益横ばい

製品構成改善、価格改定などにより売上微増、ナイロン繊維は構造改善で増益、エステル繊維は価格改定の浸透などにより短繊維の収益は改善、長繊維は婦人衣料が減益、資材用途が若干増益 ビニロン繊維がセメント補強用等で堅調

### 天然繊維

減収  
減益

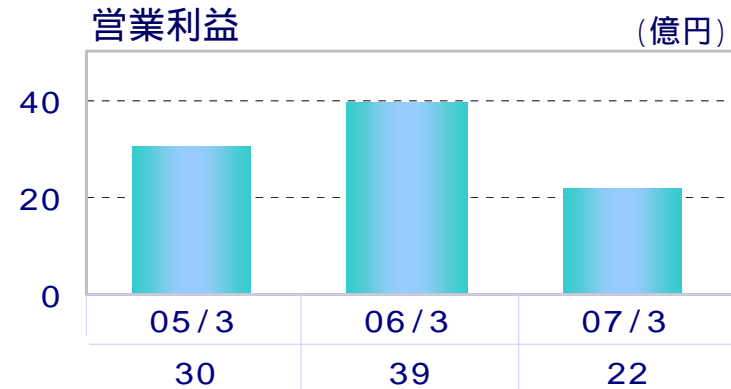
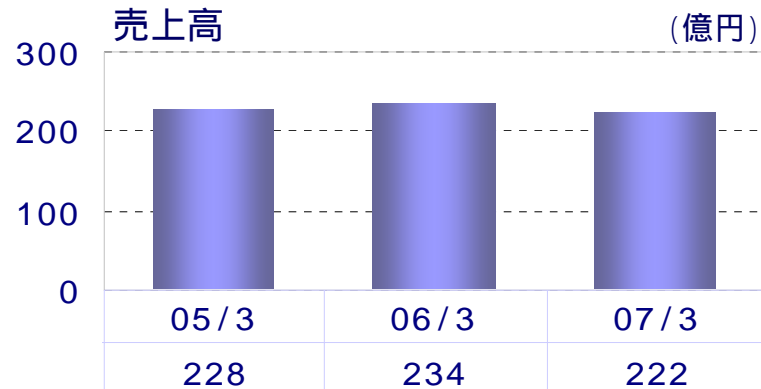
ユニフォーム分野は販売は伸長したが、価格改定が計画未達衣料分野はアジア製品との価格競争激化、原燃料価格の高騰・為替の影響もあり利益が大幅に減少

参考

(億円)	売上高			営業利益		
	07/3	06/3	増減	07/3	06/3	増減
ユニチカファイバー	365	356	+9	6	5	+1
ユニチカテキスタイル	225	236	11	0	4	4



## 生活健康・その他事業



生活健康

減収  
減益

健康食品事業は各種規制が強化される中、販売が伸び悩み  
新商品の上市、店販拡大など新たな取り組みを推進  
メディカル事業は酵素・診断薬分野の増販等で収益改善

その他

減収  
減益

販売用不動産に係るスポット的な収益が減少  
マンション事業の販売計画が未達

### その他事業

不動産関連(マンション販売、賃貸業、営業用不動産開発)、  
設備技術、情報システム 等

## 2008年3月期 通期決算予想

### 1. 業績予想

(億円)	08/3 予想	07/3 実績	増減	
			金額	%
売上高	2,400	2,206	+194	+9%
営業利益	135	112	+23	+21%
利益率	5.6%	5.1%		
経常利益	90	85	+5	+6%
当期純利益	40	26	+14	+56%

#### 前年比 増収増益

- ・環境事業の収益回復  
(既受注分の収益計上等)
- ・高分子事業での採算の改善  
(価格改定進捗、特に国内外のフィルム事業改善等)
- ・天然繊維事業の収益改善  
(価格改定進捗、組織効率化等)
- ・機能樹脂を中心とした高付加価値商品の拡販など

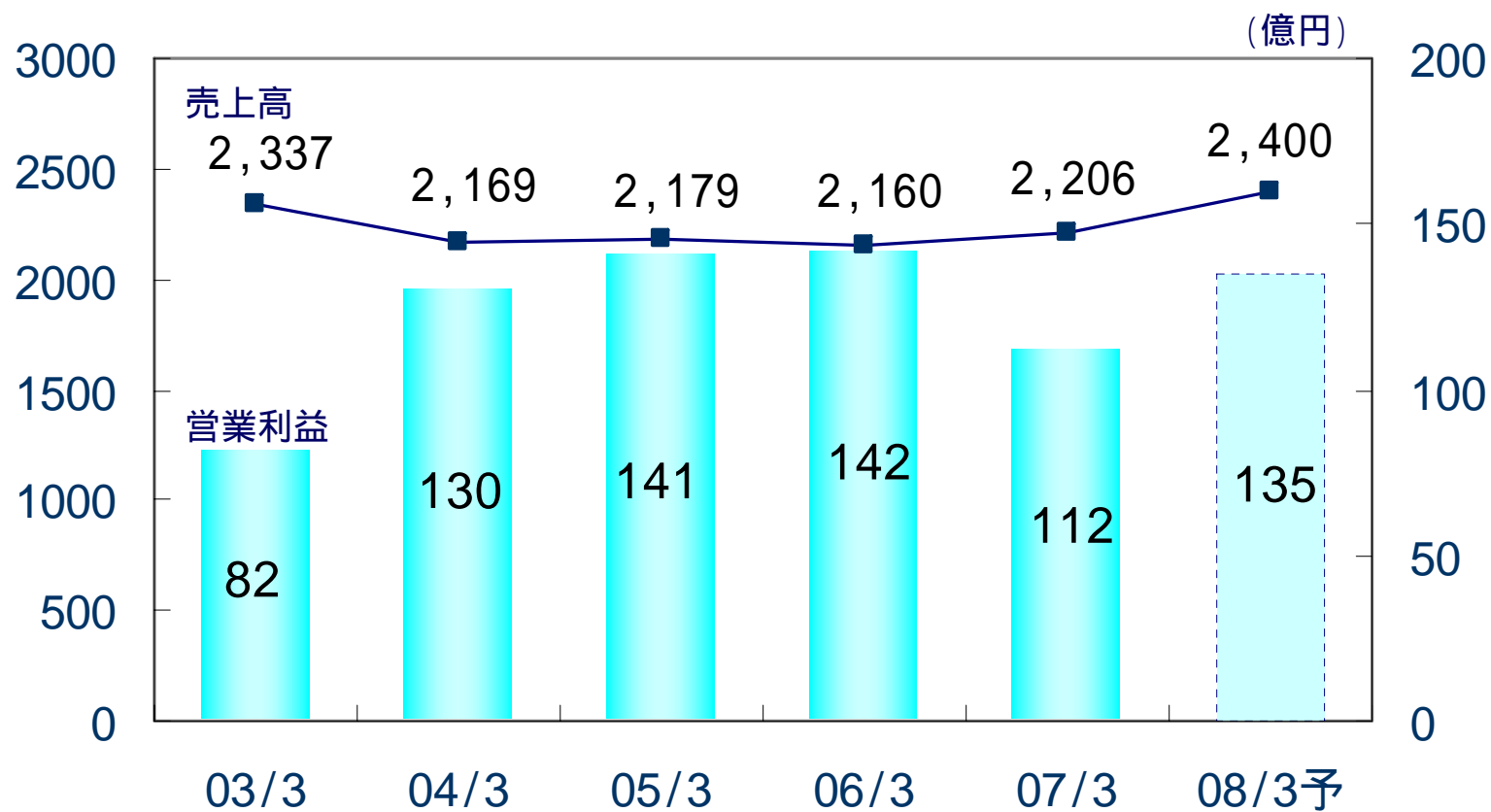
#### 引続き原燃料高影響を認識

- ・通期の影響は前年比

20～30億円程度の見通し

期前半では原燃料価格高騰の常態化などにより厳しい状況が続くと認識  
 期後半からは、施策効果の発現などによる赤字事業の採算改善、環境事業など  
 収益計上が遅れていたものの進捗、トータルコストダウンの拡大により収益改善

## 2. 業績の推移 (2003年3月期～2008年3月期予想)



当期純利益	79	35	43	45	26	40
-------	----	----	----	----	----	----

### 3. 通期のセグメント別業績予想

事業セグメント (億円)	売上高			営業利益		
	08/3 予想	07/3 実績	増減	08/3 予想	07/3 実績	増減
高分子	720	662	+58	86	76	+10
環境・機能材	370	289	+81	32	23	+9
繊維	1,060	1,032	+28	25	21	+4
生活健康・その他	250	222	+28	25	22	+3
消去・全社				33	30	3
連結合計	2,400	2,206	+194	135	112	+23

「消去・全社」欄は、「消去」、「未来費用」、「退職給付費用の一部」を含んでいる。

## < 各事業の業況見通し >

(単位:億円)

事業	利益増減	特記事項
高分子	+10	国内外ナイロンフィルムの採算改善を図り、収益は徐々に回復 ポリアリレートなど高機能樹脂の拡販、封止成型事業の育成・強化 原燃料価格高騰の常態化に対し価格改定へ向けた取り組みを継続
環境	+ 9	既受注分に係る収益の計上が進み、水処理分野を中心に収益回復 ごみ焼却炉を含め新規物件の受注獲得、当期収益への寄与
機能材		ICクロス、産業資材用ガラスクロスは堅調な販売を維持し、ほぼ横這い 活性炭繊維が廃液浄化フィルター向け等に拡販
合成繊維	+ 4	ナイロン、ポリエステル繊維は価格改定継続、差別化品拡販、資材用途 へのシフトなどにより収益維持、セメント補強用ビニロン繊維の強化
天然繊維		ユニフォーム分野での価格改定、自社開発の差別化素材の拡販など による採算改善、組織の効率化などにより抜本的な収益改善を図る
生活健康 その他	+ 3	マンション事業は前期未達分のリカバリー、新規案件等により収益改善 生活健康事業での販売増、販売用不動産(スポット)の収益を見込む

#### 4. 設備投資等の状況

	08 / 3 予想	07 / 3 実績	06 / 3 実績
(億円)			
減価償却費	65	66	67
設備投資	65	57	65

#### 設備投資セグメント別内訳

	08/3予想	07/3実績
・ 高分子	31	25
・ 環境、機能材	17	11
・ 繊維	11	14
・ 生活健康その他	6	7

## ご注意

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る決算発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。